

2018年 12月10日	日仏社会学会ニュース	No. 49 日仏社会学会事務局
-----------------	------------	---------------------

<記事>

1. 2018年度日仏社会学会総会から

(1) 総会における決議事項 (2) 2017年度会務報告 (3) 2017年度会計報告ならびに2019年度予算

2. 新理事会の発足について

3. 会員業績の年報掲載について

4. 『日仏社会学会年報』(第30号)への投稿論文等の募集について

5. 「日仏社会学会奨励賞」候補の募集

6. 新入会員の紹介

7. 会費納入のお願い

1. 2018年度日仏社会学会総会から

10月6日(土)に文京学院大学において、日仏社会学会総会が開催されました。

(1) 総会における決議事項

1) 2017年度会務報告並びに同年度会計報告を承認(各別掲)

2) 2019年度事業計画並びに予算案を承認(各別掲)

(2) 2017年度会務報告(2017年4月1日～2018年3月31日)

5月2日(火):『日仏社会学会ニュース』第45号を発行

7月30日(日):

理事会(於 日仏会館501)奨励賞、年報28号の発行について、29号の企画、日仏関連学会連絡協議会報告、次年度大会について、J-STAGEへ移行完了、facebook開設

研究例会(於 日仏会館501)吉本惣一(横浜国立大学)「経済学とデュルケームの隔たり」、コメンテーター:古市太郎(文京学院大学)、司会:江頭大蔵(広島大学)

9月18日(月・祝):

国際シンポジウム「社会の境界と社会学の境界—社会学のディシプリン再生はいかにして可能か」(於 日仏会館ホール)

趣旨説明:中島道男(奈良女子大学)、講演者:イヴ・デロワ(ボルドー政治学院)、岡崎宏樹(神戸学院大学)、荻野昌弘(関西学院大学)、ディスカッサント:小川伸彦(奈良女子大学)、古市太郎(文京学院大学)、司会:白鳥義彦(神戸大学)、北垣徹(西南学院大学)、主催:科研費研究グループ「社会学のディシプリン再生はいかにして可能か—デュルケーム社会学を事例として—」基盤研究(B)15H03409、日仏社会学会、デュルケーム/デュルケーム学派研究会

共催:(公財)日仏会館、日仏会館フランス事務所

10月28日(土):2017年度日仏社会学会大会・総会開催(於 一橋大学)

(会計報告、会務報告、新年度事業計画、予算案)

理事会:年報第28号編集状況、功労賞に関する申し合わせ事項

11月30日(水):『日仏社会学会年報』第28号発行

12月12日(火):『日仏社会学会ニュース』第46号を発行

(3) 2017年度会計報告ならびに2019年度予算

2017年度会計<2017年4月1日－2018年3月31日>

(単位：円)

収入の部		支出の部	
繰越金	628,757	印刷費	162,216
入会金	6,000	通信費	36,280
年会費	398,000	事務用品費	5,129
受取利息	4	交通費補助	52,000
雑収入	124,567	雑費	44,334
		バイト代	14,850
		ホームページ	18,454
		繰越金	824,065
合 計	1,157,328	合 計	1,157,328

2019年度予算案<2019年4月1日－2020年3月31日>

(単位：円)

収入の部		支出の部	
繰越金	600,000	印刷費	250,000
年会費	420,000	通信費	40,000
雑収入	10,000	事務用品費	10,000
		交通費補助	200,000
		雑費	50,000
		アルバイト代	20,000
		ホームページ	20,000
		予備費	440,000
合 計	1,030,000	合 計	1,030,000

2019年度事業計画

- 1) 2019年度日仏社会学会大会開催
- 2) 『日仏社会学会年報』30号の発行
- 3) 研究例会の開催
- 4) その他

2. 新理事会の発足について

(1) 役員構成

理事選挙の結果に基づいて総会で承認された新期理事(計10名)並びに役員は以下のとおりです。(五十音順)

会長：荻野昌弘(関西学院大学)、副会長：江頭大蔵(広島大学)、山 泰幸(関西学院大学)

常務理事：雪村まゆみ(関西大学)

理事：岡崎宏樹(神戸学院大学)、小川伸彦(奈良女子大学)、菊谷和宏(一橋大学)、北垣徹(西南学院大学)、近藤理恵(岡山県立大学)、佐藤典子(千葉経済大学)、

監事：林大造(追手門学院大学)、森脇丈子(流通科学大学)

事務局幹事：西牟田真希(関西学院大学)、横山寿世理(聖学院大学)

2018年12月8日現在(任期は2021年秋の総会まで)

(2) 研究活動委員

新理事会のもと、研究活動委員会を組織しました。専門領域と構成メンバーは以下のとおりです。(五十音順)

委員長：江頭大蔵(広島大学)

理論・思想：岡崎宏樹(神戸学院大学)、北垣徹(西南学院大学)、金瑛(甲南女子大学他)

記憶の社会学：藤吉圭二(追手門学院大学)、松浦雄介(熊本大学)、横山寿世理(聖学院大学)

教育・医療・福祉：大前敦巳(上越教育大学)、小田切祐詞(神奈川工科大学他)、佐藤典子(千葉経済大学)

文化・エスニシティ：鶴巻泉子(名古屋大学)、鳥羽美鈴(関西学院大学)、長谷川秀樹(横浜国立大学)

(3) 広報委員の新設

本学会の活動に関する広報を充実させるため、広報委員を新たに設置しました。メンバーは以下のとおりです。

(五十音順)

委員長：雪村まゆみ(関西大学)

岡崎宏樹(神戸学院大学)、西牟田真希(関西学院大学)、藤吉圭二(追手門学院大学)

3. 会員業績の年報掲載について

日仏社会学会では、日仏社会学に関連する会員の業績を募集し、毎年刊行の『日仏社会学会年報』にて紹介しております。

送付締め切り：2019年3月31日(必着)

2018年1月1日～12月31日までに発行された業績5点まで(論文、報告書、翻訳)。

業績の記載方法：編集の都合上、『社会学評論』のスタイル・ガイド、「文献」記載方法の通りでお願いします。

(文字ポイントは10.5、フォントはMS明朝とCentury)

(単著の本) 著者名, 出版年, 『タイトル—サブタイトル』 出版社名.

(共著の本) ファーストオーサー氏名・共著者名, 出版年, 『タイトル』 出版社名.

(編著論文) 著者名, 出版年, 「論文タイトル」 著者名編『本のタイトル』 出版社名.

(雑誌論文) 著者名, 出版年, 「論文タイトル」『雑誌名』 巻(号): 論文のページ(例315-505).

(翻訳書・翻訳論文) 原典書誌情報(=翻訳の出版年, 訳者名訳『訳書のタイトル』 出版社名.)

送付の方法: Eメール。ご送付の際には、お名前とご所属もお伝えください。

送付先: kondo@fhw.oka-pu.ac.jp (岡山県立大学、近藤理恵宛/電話番号: 0866-94-2192)

また、日仏社会学年報に著書、翻訳書（共著、共訳可）の書評を掲載されたい学会員は、日仏社会学会編集委員会まで、メールで、ご氏名、著書名ないしは翻訳書名、出版年、出版社名をお知らせください（宛先：kondo@fhw.oka-pu.ac.jp）。書評対象は、近年、学会員がご執筆された①フランス社会学、②フランス社会（社会思想史を含む）、③日仏社会に関する広義の比較研究に関する著書、翻訳書（共著、共訳可）です。自薦、他薦のどちらも受け付けております。

4. 『日仏社会学会年報』（第30号）への投稿論文等の募集について

2019年度発行予定の『日仏社会学会年報』（第30号）への論文等の投稿を、以下の要領で募集いたします。また、書評に関しては、随時受付しております。

(1) 原稿締め切り：2019年3月31日

(2) 発行日：2019年11月30日

(3) 原稿送付先：〒719-1197 岡山県総社市窪木111 岡山県立大学保健福祉学部

近藤理恵宛（『日仏社会学会年報』編集事務局）

電話 0866-94-2192 e-mail:kondo@fhw.oka-pu.ac.jp

(4) 投稿規定

- 1) 本誌に発表する論文等は、(1) フランス社会学に関するもの、(2) フランス社会（社会思想史を含む）に関するもの、(3) 日仏社会に関する広義の比較研究に関するもののうち未発表のものに限る。
- 2) 使用言語は日本語、フランス語、または英語のいずれかとする。
- 3) 論文は 400字詰め原稿用紙換算50枚程度
(図表等を含め約20,000字。フランス語または英語の場合は約5,000語)
- 4) 研究ノートは 400字詰め原稿用紙換算30枚以内
(図表等を含め約12,000字。フランス語または英語の場合は約3,000語)
- 5) 資料紹介、書評および内外研究動向は 400字詰め原稿用紙換算20枚以内。
(約8,000字。フランス語または英語の場合は約2,000語)
- 6) 論文、研究ノートには仏文または英文タイトルを付し、論文には 300語以内の仏文または英文の要約、研究ノートには 200語以内の仏文または英文の要約を添付する。また、5語以内の日本語及び、仏文または英文のキーワードを要約の後に添付する。
- 7) 原稿はワープロ原稿とし、打ち出し原稿 3部にCD-Rを添えて、簡易書留にて送付のこと。なお、原稿を送付する際に、著者名（英文付記）と所属、著者の連絡先（住所、電話、ファックス、Eメールアドレス）を書いた用紙1枚も送付のこと。
- 8) 図表については版下作製に別途費用を要する場合には実費負担とする。
- 9) 引用文献等の記述形式は以下のとおりとする。
 - ・本文には注の番号のみを記載し、引用文献、参考文献等は末尾に置く。
 - ・著書の場合には、著者名、書名、出版社名、出版年、引用頁を記載する。
 - ・論文の場合には、執筆者名、論文名、掲載誌名、巻号、発行機関、発行年、引用頁を記載する。
- 10) 投稿論文等については、編集委員会が委嘱する審査委員による審査を行い、審査結果に基づいて掲載の可否を決定する。審査委員が指示した論文等の修正が出版期日に間に合わなかった場合、その審査は次年度に継続される。
- 11) 本誌に掲載された論文等の著作権は、本学会に属するものとする。ただし、著者が後日、自分の論文等を著書等に編集する場合は原則としてこれを認め、著作権料を徴収しないものとする。

12) 本誌に掲載された論文等は原則として電子化し、公開するものとする。

5. 「日仏社会学会奨励賞」候補の募集

「日仏社会学会奨励賞」の候補を下記の要領で募集します。自薦他薦を問いませんので積極的に推薦をお願いします。

◇本賞の対象◇

- (1) 候補者の資格：本賞の対象者は、日仏社会学会の会員であり、かつ論文に関しては発行時において大学院修士課程入学後13年以内、著書（翻訳書を含む）に関しては18年以内の者とする。
- (2) 対象となる業績：原則として当該年度（2019年）の前年（2018年1月1日～12月31日）において出版された、日仏社会学及び日仏に関連づけられた研究についての著書、論文及び翻訳書のうち著者の申請または推薦者以外の会員及び候補作推薦委員によって推薦された研究業績とする。
- (3) 推薦の締め切り：2019年3月31日（必着）で、対象となる出版物1部と推薦書を事務局宛に提出してください。（※推薦書の統一的な書式はありませんが、A4ワープロ用紙に、候補者の氏名、連絡先、所属、略歴と業績、対象出版物の書名を記載してください。）

日仏社会学会事務局：〒 662-8501 兵庫県西宮市上ヶ原一番町1-155

関西学院大学社会学部

- (4) 受賞者の選考：当該年度の理事の中から互選された候補作推薦委員3名と、候補作審査委員3名をもって構成される日仏社会学会奨励賞選考委員会において選考し、理事会で決定する。
- (5) 公表・表彰：『日仏社会学会ニュース』『日仏社会学会年報』などで公表し、総会において表彰される（賞状と記念品）。

6. 新入会員の紹介

岡安 裕介（大阪物療大学他）、牧 陽子（上智大学）

7. 会費納入のお願い

2018年度会費を納入くださいますようお願いいたします。2015、2016、2017年度会費未納の方は、これも併せて納入ください。なお、会費は5,000円（院生会員は3,000円）です。同封の振替用紙にてよろしく願いいたします。

日仏社会学会事務局

〒662-8501 兵庫県西宮市上ヶ原一番町1-155

関西学院大学社会学部

TEL/FAX 0798-54-6953, nichifutsusocio@gmail.com

<http://www.nichifutsu-socio.com/>

郵便振替口座 00960 - 6 - 278804 口座名 日仏社会学会